

# さんほみち

## 発行者

兵庫県立総合リハビリテーションセンター  
リハビリテーション中央病院  
〒651-2181 神戸市西区曙町1070  
TEL (078) 927-2727  
FAX (078) 925-9203

## 新任医師紹介

### 希望と使命感に燃える新年度、小児施設完成

兵庫県立リハビリテーション中央病院  
院長 井口哲弘

この4月から樹の香りもさわやかな小児治療施設がオープンしました。ここには前熊本大学教授の三池輝久先生が「子どもの睡眠と発達医療センター長」として赴任していただきました。全国に類を見ない治療施設として睡眠障害の子どもたちへの福音となります。また県立のじぎく療育センターの閉鎖に伴い、そこに通院していた子どもたちがやってきます。すでに診療やリハビリテーションが始まっていますが、司馬センター所長を始め、金澤西播磨病院医長やこども病院から来られた浜村医長が診療を担当します。またリハビリテーション部門は大藪、溝部、菊川の各療法士を始め、研修を積んできた多くのメンバーが迎え入れていますが、すでに秋まで予約が一杯でうれしい悲鳴です。昨今の医療崩壊で小児科医師が見つからないハンディはありますが、看護部門も中嶋師長を中心に頑張っており、病棟早期オープンに向けて使命感に燃えています。

もう一つの希望は「医療安全推進室」の立ち上げです。以前に当院看護次長の経験があり、この3月まで神戸赤十字病院で医療安全管理者をしてあられた芦塚さんに来てもらいました。医療安全推進の方策は人から与えられるものではなく、「患者さんのために何ができるか」と、自分たちの頭で考え作り出すものです。芦塚さんと一緒に安全で安心な医療を進めていきましょう。



### 医療安全推進室開設に向けて



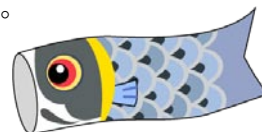
芦塚千賀子

“21世紀は医療の質が問われる時代”です。当院でも医療の質の確保向上のため、医療安全推進室を開設します。目的は

1. 患者様が安心して医療を受けられる環境作り
2. 職員も安全な医療が提供できる職場環境

です。

つまり職場の安全文化を、より高めることです。各職場の医療安全推進者と医療安全推進室が連携し、「医療の質向上」を目指します。皆様どうぞよろしくお願ひします。



子どもの睡眠と発達医療センター長  
三池 輝久

40年間勤めた熊本大学を今年3月に退職しました。大学生活の前半は筋ジストロフィーの「筋組織崩壊機構の研究」、あとの半分は子どもたちの「心の問題」を「脳の機能」として理解する研究に費やしました。最終的に子どもたちが、生き生きと生きるためには「質の良い睡眠に育まれる脳機能の発達」が極めて重要であることを認識し、これからの診療・研究を当地で全うしたいと考え当センターに来ました。よろしくお付き合い下さい。



兵庫県立リハビリテーション中央病院  
神経内科 上野 正夫

以前より神経内科外来を週2日担当させていただいていましたが、本年4月から常勤医としてお世話になっております上野正夫と申します。神経内科全般を担当させていただきます。以前は県立尼崎病院、神戸大学病院に勤務しておりました。いろいろとご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが宜しくお願いいたします。



兵庫県立リハビリテーション中央病院  
整形外科 石田 一成

本年4月よりお世話になっております整形外科の石田一成と申します。これまで神戸大学にて、膝関節の半月版や軟骨の老化に関連した研究を行ってまいりました。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



兵庫県立リハビリテーション中央病院  
整形外科 浜村 清香

4月に着任致しました、浜村清香と申します。小児整形外科、整形外科を担当させていただきます。これまでは神戸大学病院、愛仁会高槻病院、県立のじぎく療育センター、県立こども病院に勤務しておりました。微力ながら少しでも患者様のお役に立てますよう精一杯努力したいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



兵庫県立リハビリテーション中央病院  
整形外科 福田 康治

本年4月よりお世話になっております、整形外科 福田康治と申します。これまでは高槻病院、神戸大学病院、神戸医療センターに勤務してきました。いろいろご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、宜しくお願い申し上げます。



兵庫県立リハビリテーション中央病院  
泌尿器科 乃美 昌司

本年4月より着任いたしました泌尿器科の乃美昌司と申します。兵庫県立成人病センター（現がんセンター）、神戸大学附属病院、ハーバード大学・ボストン小児病院、兵庫県立こども病院で臨床と研究を行ってきました。これまで取り組んできた再生医療の研究を神戸大学腎泌尿器科・兵庫医科大学先端医学研究所でも行う予定です。皆様のお役に立てますよう頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

## お 知 ら せ

◆ 平成20年4月1日から、外来担当医表は下記のとおりです。ご留意下さい。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科					阿佐美 雅子	
			高田 俊之	高田 雅美	楠 仁美	高田 雅美
		中村 知子		早川 みち子	中村 知子	早川 みち子
		楠 仁美	加藤 順一		加藤 順一	
神経内科 (特診)						PM 奥田 志保
		上野 正夫	上野 正夫	友田 洋二	井上 貴美子	友田 洋二
					(神経難病)	
循環器科 (特診)		谷崎 俊郎	金澤 成雄	谷崎 俊郎		金澤 成雄
			(血管外来)			(血管外来)
リウマチ科		高田 雅美	中村 知子			北川 篤
整形外科 (特診)		良原 久浩	瀧川 悟史	良原 久浩		瀧川 悟史
		幸野 秀志	津村 暢宏	井口 哲弘	陳 隆明	津村 暢宏
		陳 隆明	石田 一成		幸野 秀志	石田 一成
		井口 哲弘	北川 篤	尾崎 琢磨	司馬 良一	尾崎 琢磨
		福田 康治			福田 康治	
		(脊髄疾患)	(脊髄疾患)	(脊髄疾患)	(四肢切断)	
		(四肢切断)				
泌尿器科	診 察	仙石 淳	仙石 淳	手術日	検査日	乃美 昌司
	検査・処置	乃美 昌司	乃美 昌司	午後検査		仙石 淳
リハビリテーション科				正木 康友		AM 中野 恭一
小児睡眠障害			三池 輝久		三池 輝久	
			(初診)		(再診)	
小児整形		司馬 良一	1・3 金澤 慎一郎	浜村 清香		司馬 良一
			2・4 浜村 清香			

## 新館(病院小児部門及びおおぞらのいえ)のオープン



中央病院の西側に隣接した旧障害者スポーツ交流館別館跡地に、昨年7月から進めておりました新館の増築工事が本年3月に竣工し、4月からオープンしました。

病院小児部門は、1階の小児外来診察室、小児リハビリテーション室等と3階の新病棟(30床)からなっております。

小児外来においては、県立のじぎく療育センターの閉鎖に伴い、同療育センターに通院していた子どもさんたちを

受け入れ、セラピストによる訓練を中心とする通院治療を行っております。

また、小児部門増築に伴い前熊本大学教授の三池輝久先生を「子どもの睡眠と発達医療センター長」としてお迎えしたことから、小児睡眠障害外来として学校生活を困難にするとともに、発達障害、意欲低下、疲労を引き起こしている小児慢性疲労症候群の子どもたちへの外来治療を始めております。



3階新病棟(30床)については、現在開設準備中ですが、準備が整い次第オープンし、小児慢性疲労症候群の子どもたちに対する高照度光治療・低温サウナ療法、或いは小児整形外科の手術など、小児の入院治療に取り組んで行くこととしております。



「おおぞらのいえ」は、児童福祉法に基づく肢体不自由児療護施設として新館の1階・2階部分に合わせて整備されオープンしました。病院施設でないことから、同じ建物ですが、中央病院とは明確に区画され、出入口も新館1階北側部分に別に設置されています。

「おおぞらのいえ」は、「病院に入院することを要しない肢体不自由のある児童であっ

て、家庭における養育が困難なもの」を入所させ、独立自活に必要な知識技能を与えることを目的とする施設です。また、入所児童の学習を確保するため、学習棟には「のじぎく特別支援学校おおぞら分教室」が設けられました。

